

地区運営方針：「持続可能なインパクトの創造」

クラブ会長方針：「未来のための原点回帰」～ Going back to basics for the future ～

国際ロータリー第2790地区 第3グループ

千葉西ロータリークラブ

Rotary Club of Chiba-West

WEEKLY COMMUNICATION

創立 1976年1月20日 承認 1976年2月25日
 会長 白井貴博 幹事 真野匡章
 例会場 京成ホテル ミラマーレ
 〒260-0014 千葉市中央区本千葉町15-1
 TEL 043-222-2111
 例会日 毎週火曜日 12:30～
 事務局 〒260-0001 千葉市中央区都町1-2-3
 TEL 090-3484-2790
 E-mail : chibawestrc@wrpc.co.jp
 URL : <https://www.chibawest-rc.net/>

■ 会長挨拶 / 白井貴博 会長（代読 今野文明 副会長）

皆様、こんにちは。前回の例会では不在となり、皆様にはご迷惑をおかけいたしました。さて、今月は各委員会からの活動計画発表ということで、3週にわたり各委員長からご報告をいただいております。前々回の例会では活動計画の大枠をお話しさせていただきましたが、今回は改めて私から各委員会にお願いしたい内容をお話しさせていただきます。

まず、大森ラーニング・ファシリテーターには、各委員会へのアドバイスをお願いしたいと存じます。必要に応じて委員会へのご参加もお願いいたします。

会計とSAAにつきましては、例年通りのご対応をお願いいたします。SAAには例会進行のほか、お客様のご挨拶や委員会報告などの事前確認をお願いいたします。

プログラム委員会には、年間36回という過去最小の例会回数の中でプログラムを組んでいただいております。本日の理事会にて12月までのプログラムが承認されました。下期も引き続きよろしくをお願いいたします。

会員増強・退会防止委員会につきましては、例年通り会員増強は必須でございますが、それ以上に退会防止にも力を入れていただければと存じます。上期2名、下期1名の増強は最低限の必須目標となりますので、よろしくをお願いいたします。

クラブ広報・ロータリー情報委員会につきましては、週報の作成やHPの管理は例年通りとなりますが、炉辺会談を上期・下期に1回ずつ開催していただきます。今回は通常の例会内で行わないため会場などの縛りはありません。会員が気軽に参加できる企画にいただければと存じます。

親睦活動委員会には、例年とは違った動きをお願いしております。忘年家族例会を、新年の創立記念例会に合わせた家族例会とし、会場は例会会場であるミラマーレをお願いいたします。また、長く続いてきたパートナー例会は今年度は実施なしとしております。親睦旅行につきましても例会扱いとはせず、純粋に楽しめる旅行を企画していただければと存じます。以上のように、親睦活動委員会の事業費は大幅に削っており大変ご苦勞をおかけいたしますが、よろしくをお願いいたします。

職業奉仕委員会には、上期に職業卓話をお願いしておりますが、下期には職業卓話または職場訪問などにもチャレンジしていただければと存じます。

国際奉仕委員会につきましては、昨年に続き子弟交流事業を休止させていただきました。委員会の活動自体は減りますが、今年度から書画交流の受入れ先が生浜小学校となりますので、小学生へ国際交流の魅力をお伝えいただければと存じます。また、本年度の3か国輪番事業では6月初めに釜山鎮RCへ伺いますので、多くのご参加を募っていただければと存じます。

社会奉仕委員会には、例年通りの千葉いのちの電話チャリティーコンサートの協賛と稲毛駅前のふれあい花壇をお願いいたします。佐藤委員長の本業でもございますふれあい花壇の管理には事業予算の削減にもご協力いただきました。誠に感謝申し上げます。

青少年奉仕委員会には、通常の事業のほか、昨年創立50周年記念事業であったジョイントコンサートの実施を受け持っていただきます。当日12月20日（日）は振替例会として会員全員で参加いたします。委員会の方で計画的に準備を進めていただき、クラブ全員で成功を目指したいと思います。

米山記念奨学会委員会およびロータリー財団委員会には、毎月の寄付金受付のほか、クラブフォーラムを受け持っていただきますのでよろしくお願いいたします。寄付をする目的やその使われ方などを、会員に分かりやすく伝えていただければと存じます。クラブフォーラムの時間も十分確保できるよう、SAAとも工夫してまいりたいと思います。

以上、1年間の委員会活動をどうぞよろしくお願いいたします。



■ 四つのテスト / 本間隆行 会員

「言行はこれに照らしてから」

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなの為になるかどうか



■ お客様

・なし

■ 入会式

・三本和哉新会員

今回、歴史ある千葉西 RC へお迎えいただきました京葉銀行稲毛支店の三本です。ロータリークラブに初めて参加させていただきます。わからない部分も多いと思いますがご指導ご鞭撻を頂戴しながら参加させていただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



■ 米山功労者表彰

・小松喜久子会員（第3回）



■ 幹事報告

第2回定例理事会報告

・10月～12月プログラム、いのちの電話チャリティーコンサート支援の件が承認されました。後ほど議事録とともにご案内いたします。

・地区セミナーへ未登録の委員会はお返事をお願いいたします。



■ 委員会報告

親睦活動委員会 北村委員長

納涼例会 8月8日（土）18:00～ APOLLO みどり台にて

開催します。会場と周辺のコインパーキングを別途ご案内しました。最も近い駐車場はバンドメンバーやケータリングが利用させていただきます。またこれに先立ち 7月31日（金）19:00～会場見学を兼ねて JAZZ のジャムセッションに森川事務局が参加します。よろしければぜひ観客としてご参加ください。

■ 委員会活動計画発表

会計：高橋健一郎

会計を担当します高橋です。副会計は大森会員です。

会計の活動方針は「資金を正確に管理し、今期も節約に努め、会員の実質負担の軽減を目標に、資金管理の内容を明確に、且つ、タイムリーに会員に知らせる。」です。

会計の役割は、会長・幹事の指示の元に、資金を正確に管理する。資金の受け払いは速やかに行い、記録は正確に記す。収入と支出の財政状態は定期的に役員及び理事会並びに会員に報告する。

今年度は、予算通りの収支報告ができるのを願っております。

今年1年よろしくお願いいたします。

■ 委員会活動計画発表

国際奉仕委員会 委員長：足立啓輔

皆様、こんにちは。2026-27年度 国際奉仕委員会で委員長を務めます足立 啓輔でございます。今年で三年連続の国際奉仕委員長となります。本年度の国際奉仕委員会の活動方針および計画につきましてご発表申し上げます。

1. 委員会メンバー紹介

本年度は以下の体制で国際奉仕委員会の活動を推進してまいります。

副委員長に藤崎・須藤各会員、委員に宮川・川城・遠藤平・長坂・前野・斎藤各会員です。

2. 本年度の活動方針

各事業を今後も持続可能な形で継続していくための見直し・検討を行ってまいります。

3. 事業内容

- ・姉妹三クラブ輪番訪問 2027年6月4日～6日：姉妹三クラブ輪番訪問（釜山鎮 RC）
- ・書画交流事業→生浜小学校と実施予定
- ・子弟交流事業の休止（※本年度は休止となります）



- ・世界社会奉仕（WCS）事業の実施及び研究
- ・アジアふれあい基金の管理と推進

4. 結び

今年度は書画交流の展示場所開拓や釜山鎮 RC への輪番訪問など、親睦活動委員会をはじめクラブの皆様のご協力が不可欠な事業が多くございます。委員会一丸となって努めてまいりますので、会員の皆様の温かいご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

■ 委員会活動計画発表

青少年奉仕委員会 委員長：中村武弘

メンバー構成 副委員長 長坂

兼任委員 今野 渡邊 依田 北村 都築

今年度の目標として

1. 青少年の健全育成とリーダーシップの育成

地域の青少年が健全に成長し、リーダーシップ、奉仕の精神、国際理解を育めるよう、学びと交流の機会を提供することを基本方針とし、学校・家庭・地域団体と連携しながら継続的な支援を進める。

2. 千葉商業高校インターアクトクラブとの連携重視

インターアクトクラブへの支援と交流を中心に、合同会議、年次大会、指導者講習会への参加、学校長や顧問教員との連携を実施する

3. 交流・啓発活動を通じて青少年奉仕への理解を拡大

ジョイントコンサートの企画・実施や青少年奉仕に関する認識向上活動、関連セミナーへの参加などを行い、地域やクラブ内での理解促進を図る。

これに伴い主な活動内容としては

1. インターアクトクラブとの年間連携計画を具体化する

支援活動、交流会、合同会議、年次大会などの年間スケジュールと担当者を早期に定め、学校側との定期的な連絡体制を構築する。

2. ジョイントコンサートを青少年交流の中核事業として推進する

予算計画にも大きく計上されているため、参加者拡大や地域への発信を意識しながら、青少年育成と奉仕活動の成果を可視化できる事業として実施する。

3. その他細かい点も皆様にご指導いただきながら会長方針である「未来への原点回帰」を年頭に活動してまいります。よろしくお願いいたします。



■ 委員会活動計画発表

ロータリー財団・学友委員会 委員長：今野文明

本ロータリー財団は、寄付を推奨し寄付で成り立っている団体だということをご理解頂ける委員会活動を行っていきたく考えています。

まずロータリー財団について良く言われている基本です。ロータリー財団の正式名称は「国際ロータリーのロータリー財団」ロータリー財団の創始者は「アーチ・クランフ」さん、そしてロータリー財団の標語は『世界でよいことをしよう』です。これは、覚えて欲しいと思います。

活動計画の(1)に「地区補助金の申請手続きの充実」があります。これは昨年度海寶推進委員長と大森アドバイザーのご尽力で「50 周年記念事業 第一回ジョイントコンサート」での地区補助金申請に引き続き、昨年度を参考に第 2 回の申請を行うというものです。昨年度は三年間の継続事業として申請をし、上限金額の 60 万円を受給する事ができました。本年度の申請は今年の 2 月後半から 3 月という事で、創立 50 周年のピークで長坂青少年委員長の協力のもと申請を行いました。

今月末、あと数日で本年度の上限金額 50 万円が受給できる予定です。地区の補助金プロジェクト委員会の木頭委員長に確認するとよっぽどの事が無い限り継続事業三年間の補助金受給は保証されているという事です。

継続事業と言っても同じ「受益者」ではいけないといういろいろな規定がありますが、同じ学校でも生徒が違うという事を明確にして申請します。しかし本年度は予算が無くマックスが 60 万円から 50 万円に下がりこれからの新規の継続事業の受付は無くなりました。次年度以降は、単年度その都度の事業として申請します。地区の都合により、年度が変わると既定の変更がよく有るので気を付けなければいけないと感じています。

もう一点、昨年度海寶推進委員長と創立 50 周年を記念し、100%ポールハリスフェロークラブを目指しましたが、時間が無く実現しませんでした。

ポールハリスフェローとは、ロータリー財団に総計 1,000 米ドル以上（約 16 万円前後）の寄付をした人、または名義人を称える認証となります。その後、1,000 ドルごとにマルチプル・ポール・ハリスフェローが授与されます。海寶さんのご努力下、10 年前の創立 40 周年の時に記念事業として 100%ポールハリスフェロークラブを実現しています。

「100%ポールハリスフェロー」は、通常「100%ポールハリスフェロークラブ」というクラブ単位の認証を指しています。創立 40 周年の 2015 年までに入会の「友田さん」まで、ポールハリスフェローを獲得していると思います。

100%ポールハリスフェローのやり方は、すでにポールハリスフェロー獲得している会員の累積ポイントを寄付の足りない



会員に分配します。当クラブは、計算すると、会員数に累積ポイントが満たしているため、「100%ポールハリスフェロークラブ」十分可能です。

一年遅れですが、本年度実現したいと思っています。

■ 委員会活動計画発表

米山記念奨学・学友委員会 委員長：野口アキ子

白井会長年度に米山記念奨学・学友委員長を担当させていただきます委員長の野口です。副委員長に斎藤さん、兼任委員に川島さん、川崎さん、休会中の飯高さん山本さんの5名で活動して参ります。

前年度と同じく米山記念奨学・学友委員会の事業予算は¥5,000円で米山記念奨学事業を会員に周知していくためにどのような活動をして奨学事業の価値をわかってもらえるか正直なところ悩みましたが前向きに考えて、重点活動方針で3点・活動計画で3点を掲げ会員の皆様のご理解と協力をお願いしまして活動して参ります。

1・米山記念奨学事業への理解

ロータリー活動と米山奨学金制度の趣旨の周知について

将来、日本と世界とを結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍しロータリー運動の良き理解者となる人材を育成すること。そしてロータリーの目指す平和と国際理解の推進を図る事です。10月の米山月間中にクラブフォーラムの時間を頂戴し米山奨学事業の歴史を探訪しながら会員の皆さんには周知していきたいと思ひます。

2・米山記念奨学生を卓話依頼し交流促進

今年度も米山記念奨学生の受け入れは行わない方針となりましたことを踏まえて、地区米山記念奨学・学友委員会に奨学生の卓話依頼をお願いして交流促進を深めて平和日本を世界に伝え国際親善と世界平和に寄与したいと言う多くのロータリアンの願いを伝える。

3・毎月の寄付受付及び対策

例年どおりの受付は毎月第3例会に実施、一人当たりの目標額15,000円の達成を目標に努めたいと思ひます。(寄付金は税制上の優遇措置が受けられ、所得税・法人税・相続税の寄付金控除の対象となります。)

寄付金が増えると2790地区の奨学生も増加します。皆様から集まった米山寄付額の3年前の積立基金を運用しながら奨学生の人数を決定しています。最近ではロータリアンの寄付だけでなく卒業して社会人になって恩返しの気持ちを次の世代へ活用して頂きたい思ひもあり学友の寄付も多く続いているそうです。2023年6月末現在でその寄付額は累計126,909,931円となっているようです。どんな奨学生に育てたか、育ててくれたかはロータリアンにあります。私も地区委員やめて6年位になりますが今も米山記念奨学生学友会から毎日のようにラインに情報も入って参ります。昨今の情勢を考えると難しいことがたくさんございますが皆様の1年間ご協力をよろしくお願い申し上げます。活動計画の発表といたします。



■ ニコニコBOX

- ・海寶…皆様、酷暑をのり切りましょう
- ・西川…三本（みもと）さんをよろしくお願いいたします
- ・今野…ロータリー財団・学友委員会、一年間よろしくお願い致します。
- ・野口…動内容を周知していただき、ご協力をおねがいいたします。
- ・白井…家族旅行行ってきました。先週欠席で申し訳ございませんでした。
- ・桜井…人間ドック再検査が増えました
- ・高橋…会計の役割を全ういたします。
- ・小松…田園に舞う白鷺の美しさが印象的でした
- ・中村…青少年奉仕委員会、一年間よろしくお願い致します。
- ・足立…3度目の国際奉仕委員長になります。今年度もどうぞよろしくお願い致します。
- ・三本…本日より入会させていただきます。よろしくお願い致します。

千葉西ロータリークラブ	総数	本日出席	前々回の修正	メンバー	本日の出席率	ニコニコBOX	本日の合計	次週プログラム
	45名	35名		4名	85.37%		41,000円	8月4日(火)→8日(土)へ振替
	対象者	欠席		欠席	前々回の出席率		本年度累計	納涼例会
	41名	6名		11名	72.50%		191,000円	点鐘18:00 APOLLOみどり台

クラブ広報・ロータリー情報委員会【委員長】前野拓郎【副委員長】川崎美嘉子【委員】石倉章伸・*海寶勘一・*足立啓輔・*佐藤善一